

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス													2025年						
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ～7日	9月 ～14日	9月 ～21日
カンピロバクター	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	9	5 (7)	8
病原性大腸菌	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	17	27 (33)	15
腸管出血性大腸菌	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	0	0
サルモネラ	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	3	2 (3)	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	3	2 (5)	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	3	2 (3)	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	0	1	1*
ロタウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	0
ノロウイルス	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	1	2	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*その他は、エルシニアでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第38週(9月15日～9月21日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類 別	報告数	疾 患 名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一 類	0	発生なし	0							
二 類	5	結核	5			3		1		1
三 類	0	発生なし	0							
四 類	0	発生なし	0							
五 類	75	アメーバ赤痢	1							1
		梅毒	7	1	1			3		2
		百日咳	67	2	27	6		21	1	10

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年38週(9月15日～9月21日)

■コメント

1 RSウイルス感染症

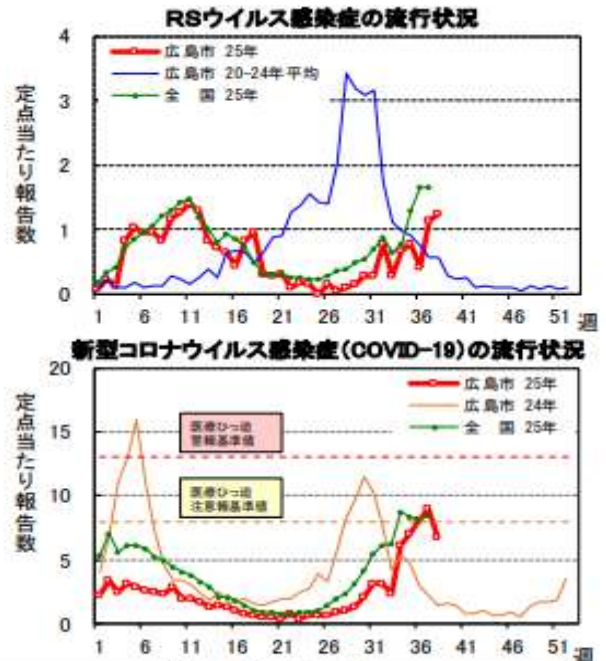
定点当たり1.23人の報告がありました。全国・広島市ともに増加傾向で、注意が必要です。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり6.77人と、多い状況です。県内では、第37週に東部保健所管内で、広島県が設定した医療ひっ迫警報基準値(定点当たり13人)以上となったため、9月18日、県内全域に「新型コロナウイルス医療ひっ迫警報」が発令されました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を行いましょう。また、発熱等の体調不良時は不要不急の外出を控えましょう。

3 マイコプラズマ肺炎

定点当たり2.33人の報告がありました。多い状況が続いており、注意が必要です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1890	54.00			小児科	突発性発しん	4	0.18	0.33	
	インフルエンザ	3	0.09	0.50			ヘルパンギーナ	6	0.27	0.54	
	新型コロナ(COVID-19)	237	6.77				流行性耳下腺炎	-	-	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	27	1.23	0.57		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	9	0.41	0.20			流行性角結膜炎	13	1.63	0.63	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	1.95	0.84		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	93	4.23	2.09			無菌性髄膜炎	1	0.17	-	
	水痘	2	0.09	0.14			マイコプラズマ肺炎	14	2.33	1.37	
	手足口病	9	0.41	1.45			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	27	1.23	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科 定点数	22
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	93	30歳代
5	梅毒	3	111	20歳代・2人、30歳代・1人
5	百日咳	21	911	10歳未満・8人、10歳代・8人、20歳代・1人、30歳代・1人、60歳代・2人、80歳代・1人